

## 【重要なお知らせ】

### 新型コロナウイルス感染拡大防止における結婚式ガイドライン

#### はじめに

この「結婚式Q & A集」は、5月14日付で[公益社団法人日本ブライダル文化振興協会](#)（以下B I A）より発表された**結婚式場業「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」**のほか、厚生労働省発表の『新しい生活様式』などを基に、新郎新婦様、ご家族、ゲストの皆様を新型コロナウイルス感染のリスクから守るために作成したものです。「これさえ守れば感染しない」というものではございませんが、状況が刻々と変わり、情報が溢れているなか、皆様が冷静なご判断をされる上でご参考になればと思います。幸いにも、状況は日々終息の方向に向かっております。皆様には最新の情報をご確認いただきながら、with コロナの現状と向き合い、新郎新婦様にとって大切なゲストの皆さまに、お2人のお気遣いが伝わり、また安心感を得ていただける結婚式が実現できることを心より願っております。

---

#### 結婚式を開催する場合に考えられること

### Q1 結婚式を実施する際に、参加人数を絞ることで感染リスクを減らすことはできますか？

参加人数を絞った場合、“その場に感染者が存在する可能性が減少する”、“一人当たりの空間を広く取ることが可能になる”という観点から、感染リスクを減らすことができると考えられます。また『三密』を回避させるという視点から、[厚生労働省の発表](#)によるビル管理法の考え方に基づく**必要換気量（一人あたり毎時 30 m<sup>3</sup>）**が確保できている、ということが一つのポイントになります。

※ザ マグリットの機械換気による毎時 30 m<sup>3</sup>の換気量が確保される各会場の収容人数は以下の通りです。

6F リバティールーム …… 80名

5F クラブ・モーガン …… 97名

2F ザ・マグリットホール …… 96名

※但し、Q2に記載の自然換気を含めるとさらに収容人数を増やすことが可能です。

## Q2 『密閉』を回避するために、各会場の換気はどのような対策がありますか？

厚生労働省の発表によると、[感染予防策として「窓の開放による方法」](#)が有効とされており、換気回数は『30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。』ことが推奨されています。（※換気回数とは、部屋の中の空気がすべて外気と入れ替わる回数を言う。）

各会場の30分当たりの換気回転数

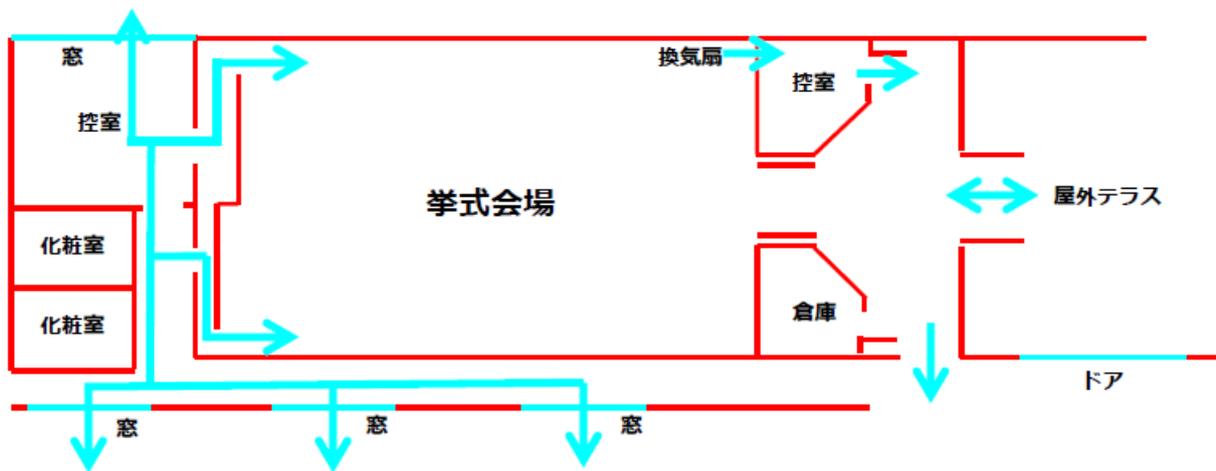
6F リバティールーム …… 2.46回転（約13分ですべて外気と入れ替わります）

5F クラブ・モーガン …… 1.57回転（約20分ですべて外気と入れ替わります）

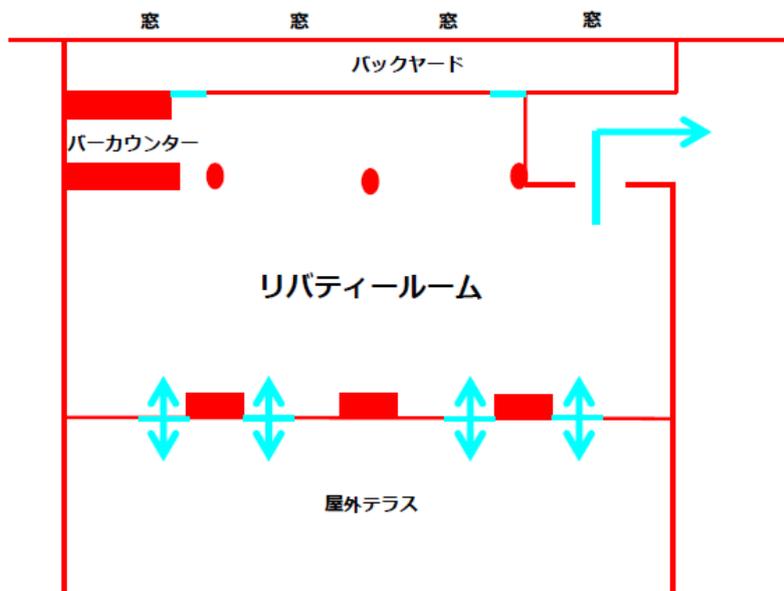
2F ザ・マグリットホール …… 2.46回転（約13分ですべて外気と入れ替わります）

仮にゲストのなかに感染された方がいたとしまして、感染しうる環境下（いわゆる『密閉』状態）に他人が存在している場合、時間が長いほど、感染のリスクは上昇することが考えられます。拳式披露宴時間の極端な短縮は難しい場合が多いため、**時間を短くすることによる効果だけではなく、「感染しにくい環境をつくること」に注力するのが望ましいと考えます。**その「感染しにくい環境をつくること」のひとつとして、換気は有効だと考えられます。**ザ マグリットでは、どの会場でも機械による換気のほか、ホール周囲に窓が多く、自然換気を行うことが可能となっています。**以下は、各会場の換気状況の図になります。

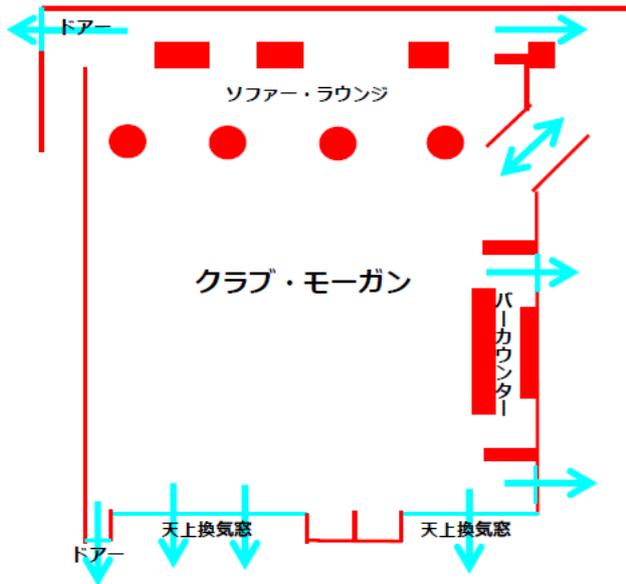
6F マンハッタン・ウェーブ・グランドクロス



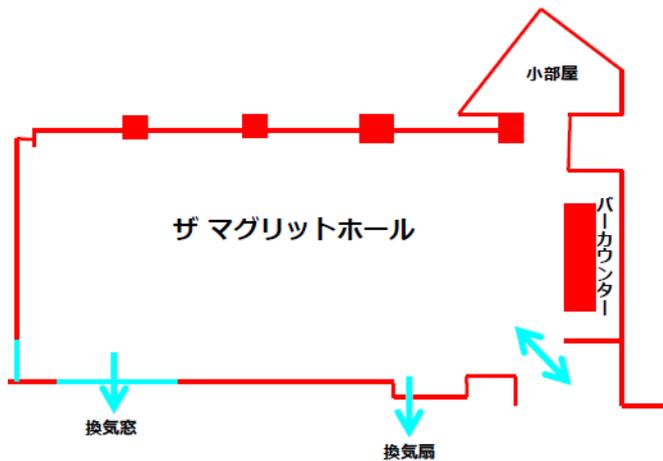
### 6F リバティールーム



### 5F クラブ・モーガン



## 2F ザマグリットホール



### Q3 『密接』『密集』を回避させるために、どのような工夫がありますか？

B I Aが作成したガイドラインによると、挙式場において参列者は、隣席との十分な間隔を開けること、披露宴会場は、出来るだけ広めの会場を手配し、席の間隔は、飛沫感染が防げる十分な間隔を開けることを推奨しています。

会食時は対面の場合、飛沫感染のリスクが高くなり、横並びがよいと言われていますが、ザ マグリットが開発したオリジナルテーブル『マザーシップ』は、直径 450cm ありこのテーブルを使用することで、自然に横並びとなることが利点です。



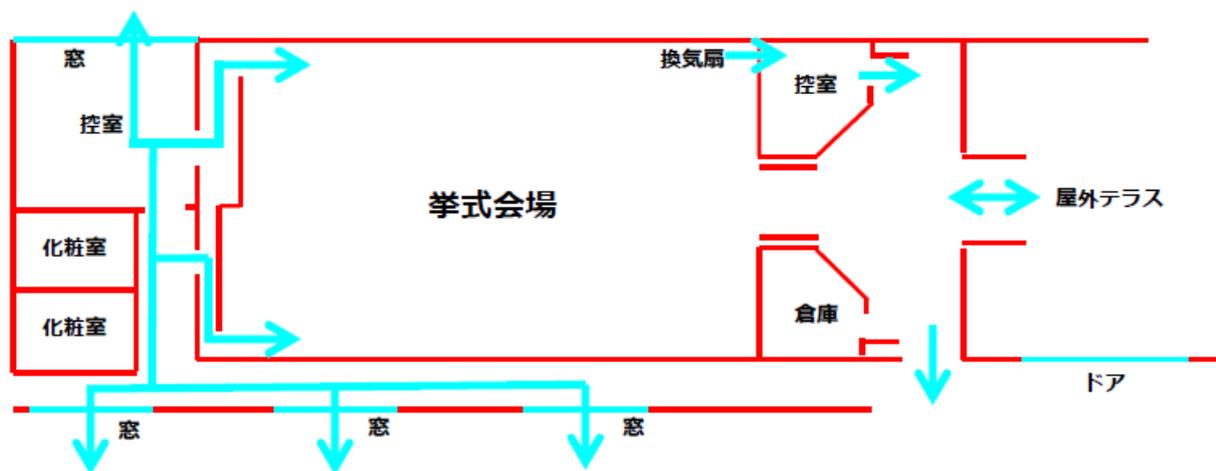
#### Q4 『密接』『密集』が想定される挙式会場では、どのような対策が考えられますか？

厚生労働省では、①換気を励行する②人の密度を下げる③近距離での会話や発声、高唱を避けることがクラスター感染発生リスク回避につながると提言しています。これを踏まえると外気を十分に取り入れること、収容可能な定員に対して列席の人数を親族や家族のみに限定し人数を減らすなどの対策が考えられます。ご参列される方には、可能な限り隣の席とは1席空けてご利用いただくこと、また飛沫感染を防ぐためにゲストへのマスクの着用なども奨励しています。

元々マグリットでは、挙式内での賛美歌の合唱は進行に組み込んでいないため、合唱による飛沫感染の心配はほとんどございません。

挙式会場はドアや控室の窓など、常時換気を行うことが可能です。

挙式会場の空気の流れ



## 進行内容やサービス内容について

### Q5 料理提供のスタイルは？

ビュッフェスタイルでの料理提供は、ウイルスが付着しているかもしれない手で触ったトングをゲスト同士で使いまわすことや、会話などで飛沫が付着したかもしれない食品をシェアするという点で、個別の食事よりリスクが高まることが考えられます。BIAのガイドラインにおいても料理の提供は個人盛りとし、大皿での提供は推奨されていません。また、お酌をしあうことは、食器などを介した接触感染が広がるリスクを高めるため、避けることを推奨しています。デザートビュッフェをお選びの場合は、スタッフがお取り分けのお手伝いさせていただきます。

### Q6 スピーチなどマイクの使い回しは感染リスクがありますか？

マイクは口元で使用することから、使用者の飛沫が付着する可能性が高い物品と言えます。次に使用される方が、前の使用された方の飛沫が付着した部分に触れることでウイルスが手に付着し接触感染を起こす可能性が考えられます。ザ マグリットではマイク使用の都度にアルコール消毒を行います。また司会者からのゲストインタビュー形式での

マイクの使いまわし使用を避けることは、感染リスクを下げる方法のひとつと考えられます。

## Q7 館内にアルコール消毒剤がありますが、どの程度の効力があり、頻度はどの程度行えばいいのでしょうか？

世界保健機関の手指衛生ガイドラインによると、アルコールによる手指消毒を正しく行えば、ほとんどの微生物（ウイルスを含む）を除去できるとされています。正しく行うことが重要であるとともに、アルコール消毒は、それまで手に付着していたウイルスを不活性化する効果はあっても、揮発性が高く効果が持続しません。よって何時間に一回ではなく、汚れた可能性がある度にその都度消毒されることをお勧めしています。新型コロナウイルスだけではなく、他の病原体を近づけないという視点でも、不特定多数の人が触れるものに触れた後、お手洗いの後、食事の前、など効果がより期待できる場面で円滑に消毒が行えるよう館内各所にアルコール消毒を設置しておりますのでご利用ください。また不特定多数の人が触れるもの（ドアノブ、椅子、テーブル、エレベーターのボタンなど）は、使用前後、消毒専用スタッフが定期的に消毒を行っています。

## Q8 調理過程で感染する可能性はありますか？

[厚生労働省](#)によると「2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。製造、流通、調理、販売等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はございません。マグリットでは、調理に携わるスタッフ全員が、始業前の体調確認、検温、アルコール消毒、マスクの着用、手袋の着用（頻繁に取り換えています）を厳守して調理を行っており、キッチン内は、次亜塩素酸ナトリウムを使用した徹底した清掃を行っています。

## Q9 スタッフが作業従事時点で自覚のない無症状病原保持者がいた場合、感染する可能性はありますか？

厚生労働省による無症状病原体保持者に関する記載は、「通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く表れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性が最も高くなるとされています。従いまして、可能性は低いとみられるものの、新型コロナウイルスについては、まだ十分に解明されていないこともあるため、一般的な感染症対策や健康管理を心掛けてください。」とされています。スタッフの健康管理を厳密に行い、感染が疑わしい者は業務に関与させないことと、マスクや手指衛生の徹底により、無症状のスタッフからの感染リスクを低下させることに努めています。ザ マグリットではB I Aのガイドラインに従い、スタッフ及び結婚式に係わる関連スタッフは、始業前及び実務開始前の検温、体調確認を徹底し、体調不良者については、他者と接することの無いよう配慮し、自宅で静養させる等の措置をとること、始業前及び実務開始前に手洗い又は手指消毒を徹底すること、ユニフォームについては、こまめに洗濯を行い、清潔に保つことを厳守しております。

### 参列するゲストについて

## Q10 ゲストとして参列を控えた方がよい場合は、どのようなときでしょうか？

B I Aのガイドラインには、「新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、発熱や風邪の症状のある場合には、参列はご遠慮いただくよう、事前にご案内すること。なお、来場者に発熱等の症状がみられる場合、検温等を行い、来場を制限する場合もある。」としています。ザ マグリットもこのガイド

ラインに従い、ご参列の皆様にご案内していただくことを推奨しています。

## Q11 ゲストが式場に向かうときに気を付けることはありますか？

移動の際には様々なリスクの可能性があります。飛行機や新幹線を利用する場合でも、基本的な対策を守ることにより、感染リスクを下げることは可能です。**各機関にて注意喚起されている対策としての、マスクの着用、手洗いや手指消毒をこまめに行う、近距離での会話や食事を避ける、咳エチケットなどを守ることが現段階での最善策と考えられます。**また、自家用車を利用する場合でも、複数人で乗り合わせると車内が密閉空間となりうるため、換気を十分に行うなどの対策をする必要があります。

## Q12 ゲストは常にマスクを着用した方がよいのでしょうか？

[厚生労働省の発表](#)によると、「マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及び、それらに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ上で高い効果を持ちます。**咳やくしゃみなどの症状のある人は積極的にマスクを着用することが望ましいでしょう。**ご自身の予防用にマスクを着用することは、混みあった場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外などでは、相当混みあっていない限り、マスクを着用することによる予防効果はあまり認められていません。」と提言しています。

**B I Aのガイドラインには「列席者の来場時には、マスクの着用を求め、ロビー、控室、式場等においては、常にマスクを着用してもらうこと、集合写真を撮影する場合は、直前までマスクを着用し、会話を控えてもらうこと。」とされています。**ザ マグリットでも、挙式の際のチャペル内など、密集が避けられない場合には、マスクをご着用いただくことをお願いしております。屋外での写真撮影などでは十分に配慮したうえで、マスクを外すことも可能であると考えています。**また、結婚式に携わる全てのスタッフにマスクの着用を義務付けております。**

### **Q13 結婚式から帰ってからやるべきことはありますか？**

普段の生活の中で外出から帰宅した場合と同様ですが、30秒以上の手洗いやうがい、洗顔、シャワー、着替えなどを行うことで、もし外出先で身体にウイルスが付着していたとしても、付着物からの感染のリスクを減らすことが可能です。

2020年5月24現在